

新型コロナウイルスの感染防止の再徹底

校長 市川 裕二

3学期が始まりましたが、1月7日に東京都に対して緊急事態宣言が再発令されました。今回の発令では、臨時休業等の対応はありませんから、学校は、部活動や歌唱指導等の一部感染の可能性のある活動を中止しながらも、通常の授業を進めることができます。児童・生徒が、活動している姿を見ていると、一見、ウイルスなど関係なさそうですが、感染防止に向け、気持ちを緩めないで、手洗い等の指導と、消毒等の徹底を行っています。今年度、新型コロナウイルス感染症の予防のための手洗いやマスクを付けることを指導した結果、「できるようになってきた」「教員が言わなくても、自分から行うようになってきた」という結果を教員から聞いております。子供たちの気持ちも変わってきたのかもしれない。

さて、1月には、今年度の学習の成果を保護者の皆様にご覧いただく機会として、「ふたば祭ウィーク」を計画しておりましたが、こうした緊急事態でございますので、残念ながら2月に延期することとさせていただきます。2月7日には、解除される予定ですが、今の状況を見ていると悲観的になります。その場合は、3月の実施は、卒業式の準備があるため難しいかもしれません。体育館での展示の様子を、ホームページ上で、ご覧いただける方法を検討しています。ご理解をいただけますようお願い申し上げます。

家庭と学校との連携について

副校長 渡辺 裕介

今年もあっという間に1月が終わり、今年度もあと2ヶ月となりました。東京都等では緊急事態宣言が出されるなど、新型コロナウイルス感染症についてはまだまだ予断を許さない状況ではありますが、学校では感染症予防対策を進めながら、教育内容が少しでもより充実するよう取り組んでおります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、感染症予防対策のこともあり、休日等もご家庭で過ごす時間が多いことと存じます。現在は学校行事等も行っていないこともあり、ここでは日頃家庭と学校との連携について考えていることをお伝えしたいと思います。

私は教員として児童・生徒の指導をしている中で、学習内容としてはとても良いけれど、学校ではあまり回数を増やして取り組むことが難しいものがあるなと感じていました。例えば調理などが代表的なものです。調理は、作ったものを最後に食べるということで、目的がはっきりしているのでモチベーションが高めやすく、手順があり、使う道具も豊富です。しかし、学校では他の指導内容もありますので、それほど回数を実施できません。

調理に限りませんが、ご家庭でも取り組むことによって学習が深まる内容もあるかと思えます。学校としても家庭での取り組みについて支援できればと思います。何かあれば、いつでも担任にご相談ください。どうぞよろしく願いいたします。

第3回ふれあい月間 生活指導部

2月は、ふれあい月間です。児童・生徒が安心して学校生活を過ごすために、いじめ等の調査を行います。各学級にて児童・生徒には、いじめの聞き取りアンケートを実施いたします。問題が生じた場合は、学校いじめ委員会で共有し、問題の解決に取り組めます。

学校では、挨拶をしようすることで相手を意識し、良好な関係を築き、学級・学年の活動で相手を思いやる心情を育む指導を行ってまいります。心配なことがありましたら、教職員、学校以外の相談窓口にご相談ください。

遊具・玩具の安全な使用について

生活指導部

遊具を使用する際は、ルールを守って使うことが大切です。校内では、ブランコは柵の中に入らないで待つ、滑り台は逆走して滑らない、順番をしっかりと守って滑る等のルールがあります。ご家庭においても公園の遊具を使うときには、お子さんとルールの確認をお願いします。また、自転車や三輪車、キックスケーターに乗る際は、ヘルメットやプロテクターを付けて安全に乗るようにしましょう。

安全な登下校 生活指導部

寒い日々が続きます。登下校中にポケットに手を入れたまま歩いている生徒を見かけます。両手がふさがったまま転倒すると危ないです。手袋をはじめ、温かい服装を心がけましょう。また、手袋は落としやすいので、記名をお願いします。

雨上がりの翌日は道路の凍結があります。滑りにくい靴を履き、歩道は走らず、落ち着いて歩きましょう。

一人通学を練習している人、または完全に一人で通学している人は、日頃からご家庭と緊急時の連絡のとり方を練習しておいてください。せっかくの連絡手段の電話やヘルプカードが靴の奥底にあり、使えないと困ります。持ち物を用意するときに今一度ご確認ください。

ご家庭で確認してください

- ・交差点やT字路などでは確実に左右を確認する。
- ・黄色信号、歩行者信号の点滅では道路を渡らない。
- ・歩きスマホをしない。
- ・道幅いっぱいになり歩道を塞がない。
- ・見知らぬ人からの言葉掛けに応じない。

感染症対策～新しい生活様式～実践

昨年5月に「新しい生活様式」の実践が全国的に始まり、日常生活に少しずつなじんできました。児童・生徒の中には「密」「マスク」「ソーシャルディスタンス」などのキーワードを意識できるようになってきた児童・生徒も見られます。

12月に校内では、学級担任に「児童・生徒のマスク着用状況」についての調査を行いました。新型コロナウイルス感染症が流行する前と後（グラフの表記：コロナ前、コロナ後）では、マスクを着用できるようになった児童・生徒の割合が増えたことが数字的にも表れました。

学級担任からは、「家庭も含め常時着用することで定着した」「複数枚マスクを準備して下さった」「好きなキャラクターを準備して下さった」「大きさやゴムの工夫をして下さった」とご家庭のご協力に感謝する意見や、友達同士で声を掛け合っていたという校内エピソードなどがありました。保護者の皆様ご協力ありがとうございます。

まだ制約の多い生活が続くかと思いますが、児童・生徒が安全に学習できるよう、感染症対策をしっかり行ってまいります。

スクールバス車内に飛沫感染防止の簡易パーテーションを設置します。気になるお子さんもいるかと思いますが、ご家庭でも「感染防止の大切な道具」ということをお伝えください。

